



第1回家庭教育学級～2・3年学年行事「サイエンスマジック」

6月15日（木）に、PTA文化部主催の第1回家庭教育学級が開かれました。今年度は、『科学、絆、命』をテーマに、「子供たちの健全な育成と家庭教育の向上」を目指して、2回の家庭教育学級が開設されます。

そして、第1回目として、群馬工業高等専門学校名誉教授の小島昭先生をお迎えして、2・3年生とその保護者が、「サイエンスマジック」を楽しみました。

スタートは、風船にミカンの汁をかけて破裂させての「花火大会」。なんで、破裂するの？と誰もがびっくりの様子。その他、液体窒素にボールやバラの花を入れ、床に投げたり、手で握ったりすると、パリパリッと砕けてびっくり。その他、弾まないスーパーボールなどを紹介。

科学というとなんか難しいという印象であるが、実際に楽しみながら学んで、2・3年生は大盛り上がりでした。2回目の家庭教育学級は、4年学年行事共催で、「命の授業」を実施する予定です。



【風船に汁をかけたら～】



【バラの花が割れちゃった】



【風船がどうなるかな】



お知らせ

スクールゾーン対策委員会より

6月15日（木）に、丹羽区長さんをはじめとした自治会役員さん、交通安全協会12支部長・副部長さん、交通指導員さん、PTA役員さん、南高校校長先生、桜木中学校教頭先生、広沢保育園園長さん、桐生警察署署員さん、桐生市役所土木課職員さん、安全安心課職員さん、教育委員会保健体育係長さん等、関係者多数の出席の中、児童の登下校の様子、スクールゾーンの現状と改善策などを話し合いました。その結果、次のような意見が出ましたので、保護者の皆様にも、児童の安全確保のため、ご協力をお願いします。

○岸製作所から加藤鉄工までの道は狭く、溝にふたがなく危険。そのため、岸製作所の信号交差点を渡って今までそこを歩いてきた児童、また岸製作所近くの児童は、2学期より山田製作所正門前の122号線を通り、中通り線の歩道を通って登校する。今年度実証してみて、30年度よりそこを通学路とし、岸製作所から加藤鉄工までの道はスクールゾーンから外す。

○朝や放課後に、自動車が正門前に止まっていると、児童が自動車の陰になり危険。今後、正門前に自動車を止めることのないよう、協力をお願いします。南側道路の駐停車も危険です。（楽器の運搬、足等の怪我で児童の送迎など、やむを得ない場合は、体育館裏の西門から）

1学期指導主事訪問～指導力向上に向けて

6月14日（水）に、桐生市教育委員会学校教育課から、石井指導主事と糸井指導主事を指導助言者に迎え、授業研究会を行いました。今回の授業研究会は、今年度の学校経営の努力点「教員としての資質・能力の向上」「自ら学ぶ意欲をもつ児童の育成」につながるものです。

研究授業は、3年2組で行われましたが、その他2年1組、4年1組、6年1組、あおぞら学級、そして音楽専科の音楽の授業も公開され、教職員で授業を参観し合いました。そして、放課後指導助言者を交え、全教職員で授業力向上に向けて討議いたしました。

授業力を高め、児童に「勉強が分かった」、「もっと勉強したい」という思いを抱かせることは、教員の使命であります。また、このことは、目指す学校の姿である「児童一人一人を大切にする学校」「わかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる学校」につながります。

今後も、本校教職員全体で、教員としての資質・能力の向上に向けて、日々研鑽に努めていきたいと思っております。



【3年2組 児童の声を大事にして】



【2年1組 児童の考えを生かして】



桐生市児童会役員協議会の開催



20日（火）中央公民館において、桐生市児童会役員協議会が開催されました。

この協議会は、市内小学校17校から、児童会代表の児童が集まり、自分たちの学校で行われている児童会活動について発表し合い、交流を深めるものです。

本校からは、児童6年生9名、5年生4名が参加し、代表の金井君と中里君が、たてわり活動や委員会活動、あいさつひろめ隊の活動などを堂々と発表しました。また、マスコットキャラクターしんめちゃんも登場して、いじめ防止活動の一環で取り組む「ふわふわ言葉



大作戦」について、5年生も立派な態度で発表していました。さすが、神明小学校の代表児童です。